

## 間伐材入り紙コップの導入について

ティーサービスを実施している全てのSA・PA(52カ所)で使用している紙コップを、地球環境保全の観点から間伐材入りのものに順次切り替えます。

これは、国が「地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策」の一つとして進める間伐の推進及び間伐材の利用拡大<sup>(\*)</sup>に協力するとともに、紙コップの利用を通じてその普及啓発に取り組むものです。

紙コップやティーサービスコーナーには、全国森林組合連合会から認定された「間伐材マーク」を表示し、間伐材利用の普及啓発に努めます。なお、紙コップの品質は、従来と変更ありません。



(間伐材マーク)

(\*) 現在、間伐の遅れた森林を集中的に解消し、健全で多面的な機能を発揮する森林を育成する「間伐等推進3カ年対策」が進められており、効率的かつ計画的な間伐の推進や、間伐材等利用の促進が図られています。

### 【参考】

NEXCO 東日本は、去る9月に、当社がその企業活動を通じ、どのような社会的責任を果たし、持続可能な社会づくりに向けてどのように貢献しているかを取りまとめた、会社設立後初めてとなる「NEXCO 東日本 CSR Report 2007」を作成しました。

当社は環境への取り組みを経営の重要課題と位置づけ、社会の責任ある一員として、地球環境の保全や循環型社会の形成に貢献するとともに、沿道の生活環境や自然環境の保全の取り組みを進めることにより、社会から信頼される企業を目指しています。

この方針のもと、限りある資源の効率的な活用や環境負荷の低減のため、

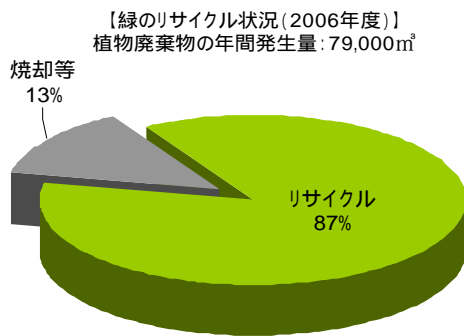
- ・ 高速道路の管理運営・建設の事業活動において発生する「建設副産物」のリサイクル
- ・ 道路、SA・PA で発生するごみや植物廃材のリサイクル
- ・ 再生資材等のグリーン調達の推進

など、地球温暖化防止や循環型社会形成に向けて、積極的な活動を推進しています。

### 循環型社会形成の取り組み

#### 緑のリサイクルの推進

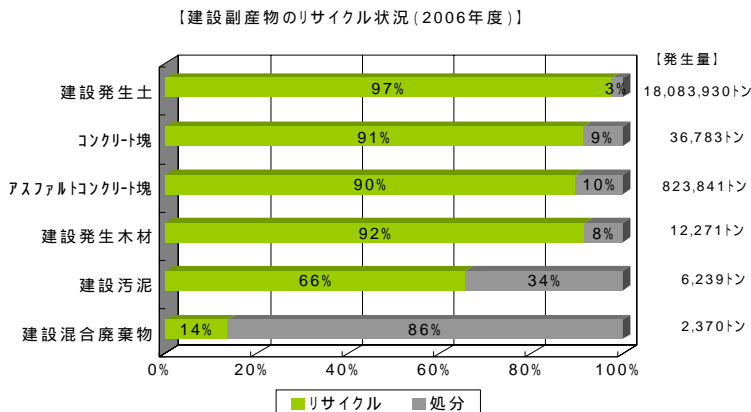
- ・ 高速道路敷地内の樹木の剪定や草刈などの作業で発生する「植物廃材」は、2006 年度、約 79,000m<sup>3</sup>（10 トントラック約 3,200 台分）となっています。
- ・ 2006 年度は、この植物廃材の約 9 割について堆肥化等のリサイクルを行い、建設工事等で再利用を行っています。



堆肥の製造状況(関東支社)

#### 建設副産物のリサイクルの推進

- ・ 建設工事等において発生する建設発生土やコンクリート塊、建設汚泥等の建設副産物のリサイクルに取り組んでいます。
- ・ 2006 年度は、これら建設副産物について、約 1,800 万トン（10 トントラック 180 万台分）のリサイクルに取り組みました（全体でリサイクル率約 97%）。



コンクリート塊の再資源化状況  
(場所打ち杭の小割り)